

fukasawa
mill
dayori

FUKASAWAMILL HOIKUEN　ENDAYORI　APRIL 2024

令和6年4月１日

まんまるの部屋だより～入園･進級おめでとうございます～

●ふかさわミル保育園も、早いもので開園してから９回目の春を迎えました。幼稚園や学校と違い、保育園には春休みがありません。そのため、卒園･進級する子ども･保護者の方との例年の切ないお別れムードは、年度末最終日のお迎え時刻にピークを迎えます。そして、その余韻に浸るのも束の間、翌4月1日には園内のムードは一変。新入園児をお迎えしての新生活が一気にスタートします。

●こうしたこの時期特有の気持ちの切り替えは、毎年経験していてもなかなか慣れられるものではありません。しかし、これから始まる1年の間に、どれだけ素敵な子どもたちのドラマに立ち会えるのだろうかと思うと、今から本当に楽しみでなりません。

●さて、先日ミル保育園で行われた卒園式の式辞の中で、私から保護者様に向けて、以前テレビ番組「チコちゃんに叱られる！」(NHK)の中で取り上げられていた内容を引用しました。それは、「親がわが子と生涯で一緒に過ご

せる時間はどれくらいあるのか？」という内容です。

●関西大学教授の保田時男氏によれば、親子が生涯で一緒に過ごせる時間は、睡眠時間や勤務時間、通勤時間等を除くと、母親が約７年６か月、父親に至ってはなんとその半分にも満たない、たった３年４か月しかないのだそうです。

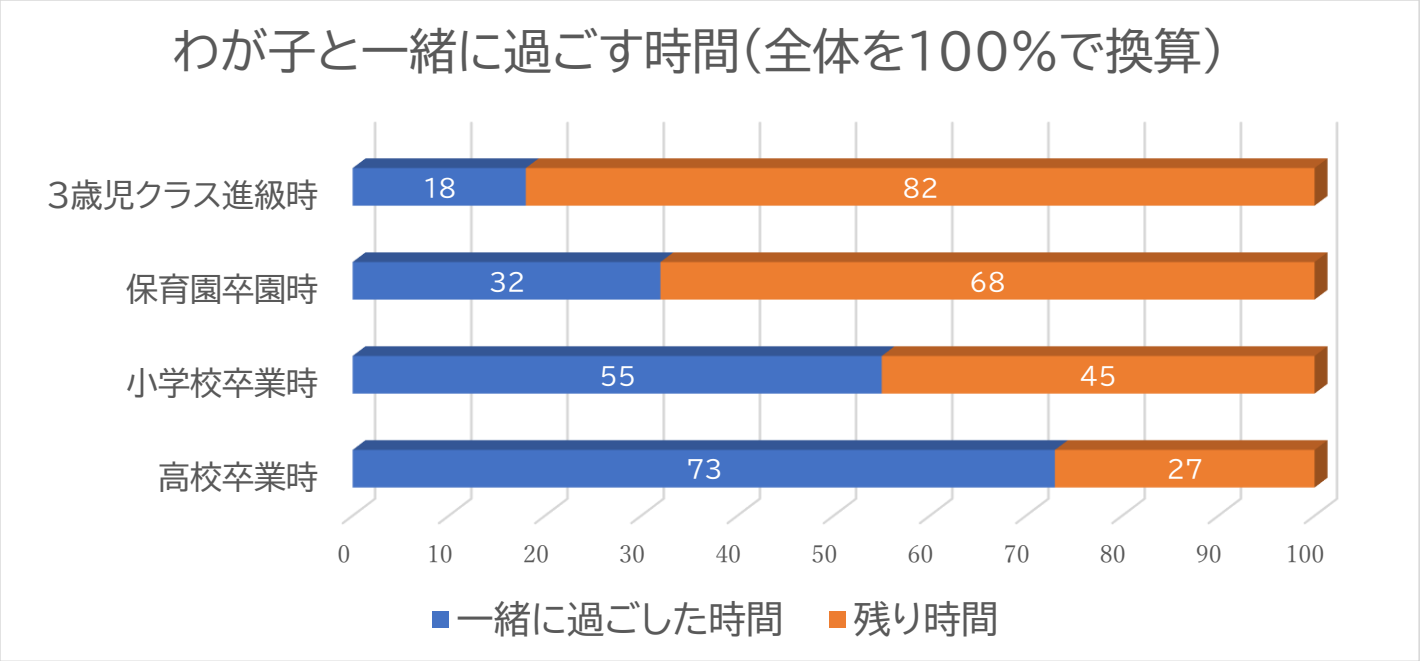
わが子と生涯で一緒に過ごせる時間

母親:約７年６か月

父親:約3年4か月

●さらに、子どもの成長段階ごとに分析すると、その残り時間は次のようになるといいます。

- ３歳児クラス進級時　:残り82%
- 保育園卒園時　:残り68%
- 小学校卒業時　:残り45%
- 高校卒業時　:残り27%



●いかがでしょう。生涯で親子が一緒に過ごせる時間というのは、想像以上に短いと思いませんか。このようなデータを見ると、日々子どもと当たり前のように一緒に過ごしている時間が随分と貴重なものに思えてきます。

●ただ、私はこの時間の希少性は、単に残り時間の量だけがもたらしているものではないようにも思います。それは以下のような理由からです。

●私事ですが私には今年小学校を卒業した息子がおり、先日その卒業式に参列してまいりました。心も体も保育園を卒園した時に比べ大きく成長したわが子。不器用に締めたネクタイ、着慣れないスーツ姿で檀上に上がり、声変わりした低い声で返事をし、大人びた表情で卒業証書を受け取る姿。親として胸にこみ上げてくるものは、確かにありました。

●それでも今からちょうど6年前、保育園で行われた卒園式の時に感じた、わが子の成長にむせび泣くような激しい感情とは比較になりませんでした。

●この違いはどうして起こるのだろうか。考えてみるとそれは、親子で一緒に過ごした時間の質的な側面、要するに濃淡の違いによるものではないかと思うのです。

●言うまでもなく乳幼児期は、子どもの生涯にわたる人格形成にとって極めて重要な時期に当たります。向き合う親の姿勢も自ずと真剣にならざるをえません。

●わが子を保育園に預け始めた当初、別れ際に泣きじゃくり離れようとしないわが子の姿・泣き声に心が鷲掴みされ、その場からなんとも去りがたい、こっちが泣きた

いそんな気持ちを抑えながら、後ろ髪を引かれる思いで職場に向かう経験をなさったことのある保護者の方は、きっと少なくないと思います。

●そして、職場に着くやいなや、退勤時間ギリギリまで全力で仕事に集中。再び保育園で子どもと再会し、帰宅後は急いで夕飯を食べさせ、お風呂からの寝かしつけ。…怒涛のような一日を終え、ふと両手を布団から投げ出して熟睡するあどけないわが子の寝顔を眺めながら、「この寝顔のためなら、自分はどんな大変なことでもやっていけるーー」そんな勇気を毎日くれる、かけがえのないわが子の存在。

●こうしてわが子との間に生まれる泣き笑いの日々によって、それまで社会人として職責を全うするために日々築き上げてきた堅い卵の殻のような“社会性”という城壁が、まるで温泉卵のようにふるふると融解する瞬間が訪れます。純粋無垢な子どもと真摯に向き合うことで、親である私たちが今一度幼少期の感受性を取り戻し、自身が人間的に成長するためのゲートが開くゴールデンタイム。それが、保育園に子どもを預けている「今」なのではないかと、私は思います。

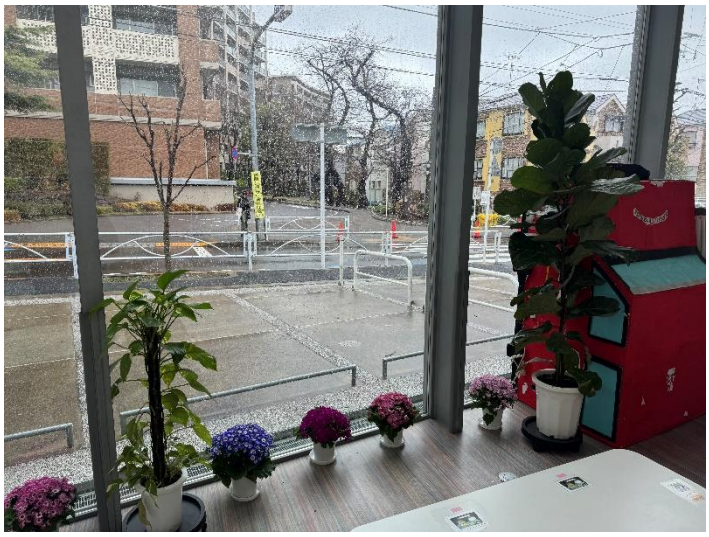
●だからこそ、そんな大切な時期を伴走する立場にある私たち保育園の責任もまた重大です。

●ふかさわミル保育園の「ミル(mill)」は「工場・工房」を指す英単語です。例えば、熟練した家具職人が木の特性・風合いを生かしながら適材適所、研磨することで、一点ものの格調高い家具を世に送り出すように、高い専門性と豊かな人間味を兼ね備えた保育者が、子ども一人ひと

りの気持ちに寄り添い、子どもの自己実現のためのお手伝いをするーーそんな理想を掲げて日々保育に取り組んでいます。

●保護者の皆様の温かいご支援とご理解のおかげさまで、今年は一人も退職者が出ることなく新年度を迎えることができました。更に今年は新人保育士１名が新たに仲間に加わりました。引き続き同じメンバーでお子様の育ちを見届けることができる喜びと幸せを噛みしめています。この場を借りて改めて感謝申し上げます。

●今年1年、ふかさわミル保育園に通う全ての子どもが安心・安全に笑顔で生活できるように、そしてかけがえのない親子のゴールデンタイムの“今”に少しでも彩りを添えられるように、職員一同尽力してまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。





＜　4月の予定　＞

1日　ウェルカムパーティ
2日～12日　なかよし保育

＜　ほけんの予定　＞

乳児健診：　4月17日　12:30～
身体測定：　4月15日～19日

4月の目標

0歳 ふんわりさん

・ひとりひとりの生活リズムを大切に過ごしていき、離乳食やミルク、睡眠がしっかりとれるようにしていきます。
・一人ひとりの要求を温かく受け止めて信頼関係を深めていく中で、様々なものに興味を持ってもらえるよう、環境を整えてあそんでいきたいと思います。

1歳 まっすぐさん

・身の回りのことを“やってみたい”、“自分でできた”という気持ちを大切に援助していきたいと思います。
・新入園児の子は気持ちに寄り添い、好きな場所や遊びを見つけていきながら安心して保育園で過ごすことができるようにしていきます。

2歳 ぐるぐるさん

・環境が変わる中でも心地良く過ごせるように、一人ひとりのリズムに合わせるとともに気持ちに寄り添っていきます。
・新入園児の子は、1人ひとりの思いに寄り添いながら、好きな場所や好きなあそびを見つけていきながら安心して過ごすことができるようにしていきます。

3～5歳 幼児さん

あそびから戻った後の着脱の方法や片付け方法などを子どもたちと一つ一つ確認しながら行っていきたいと思います。また、天気や気温に合わせた衣服の調節も一緒に確認していきたいと思います。

〇らんらん
4月から大きく環境などが変わるのではなく、3月から続けてきた生活リズムを繰り返していくことで、安心して過ごしていけるようにします。また、散歩に出かけ、春の自然や様々な素材に触れていきます。

〇もりもり
あそびや生活の中で、他学年との関わりを持つことで、1つお兄さんお姉さんになった自覚を持ち「やってあげよう」という思いやりの気持ちを持てるようにしていきます。

〇ぐんぐん
“はらぺこあおむし”をテーマに5、6人のチームで協力するスタンプラリーのあそびを取り入れていき、協同性を育んでいきたいと思います。また、“ちくちくことば”“ふわふわことば”など子どもたちと一緒に言葉の使い方やあそび方を考えていきます。